

新図書館等複合施設の概要

新図書館・新点字図書館・こども科学館(仮称)



南西側の外観(イメージ)

新しい複合施設では、基本計画に掲げる新図書館(高知県立図書館・高知市民図書館本館)、新点字図書館、こども科学館(仮称)それぞれの基本コンセプトを具体化し、機能を十分に発揮できるようにするとともに、3つの施設を効率的に配置し、相互に連携を図ります。

複合施設として整備することにより、さまざまな人々の交流が深まり、県内の生涯学習や文化の発展に寄与するとともに、県民・市民の暮らしと仕事の中で起きるさまざまな課題解決を支援する知的・文化的な基盤とします。



基本コンセプト(新図書館等複合施設整備基本計画より)

新図書館(高知県立図書館・高知市民図書館本館)

県立図書館と市民図書館本館それぞれの役割分担を明確にしなが、連携してサービスを提供することにより、県民・市民の読書環境・情報提供の充実を図ります。

新点字図書館

より幅広く視覚に何らかの障害のある県民・市民への読書支援や利用者のニーズに応えられる情報提供の拠点施設としての役割を充実します。

こども科学館(仮称)

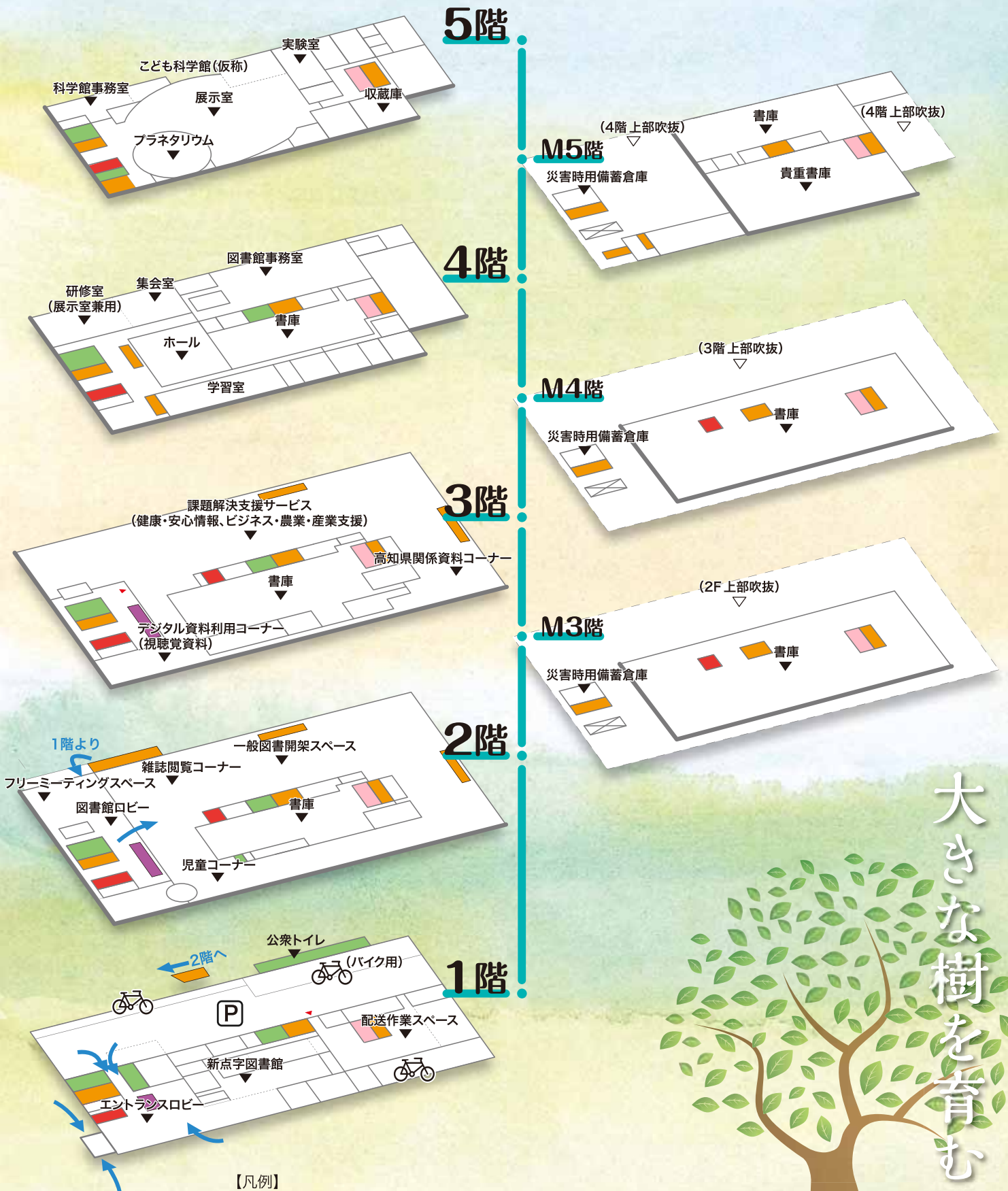
次代を担う創造性豊かな人材の育成を図り、科学的な見方や考え方を養う知的創造活動の場を提供します。

設計理念 4つの知がひとつの幹に寄り添う 「大きな樹を育む」ような施設づくり

- 1 帯屋町や追手筋からの人を迎え入れ「にぎわいをつくる」**
 - ・四方からの来館者の動線を確保
 - ・裏面のない、周辺のまちなみになじむ外観
- 2 県民・市民が自ら使いこなす「愛着のある施設」**
 - ・わかりやすいフロア構成
 - ・すべての利用者がスムーズに使えるユニバーサルデザイン
- 3 災害時にも「安心・安全な場所をつくる」**
 - ・地震の揺れを軽減する免震構造
 - ・緊急避難場所(津波避難ビル)としての機能の確保

施設の構成

- ・大きく5つに分けたフロアに、3つの施設をわかりやすく配置します。
- ・図書館フロアの中央には、知のシンボルとなる書庫を配置します。2階、3階、4階の書庫は、それぞれ上下2層構造とし、収蔵能力を高めます。



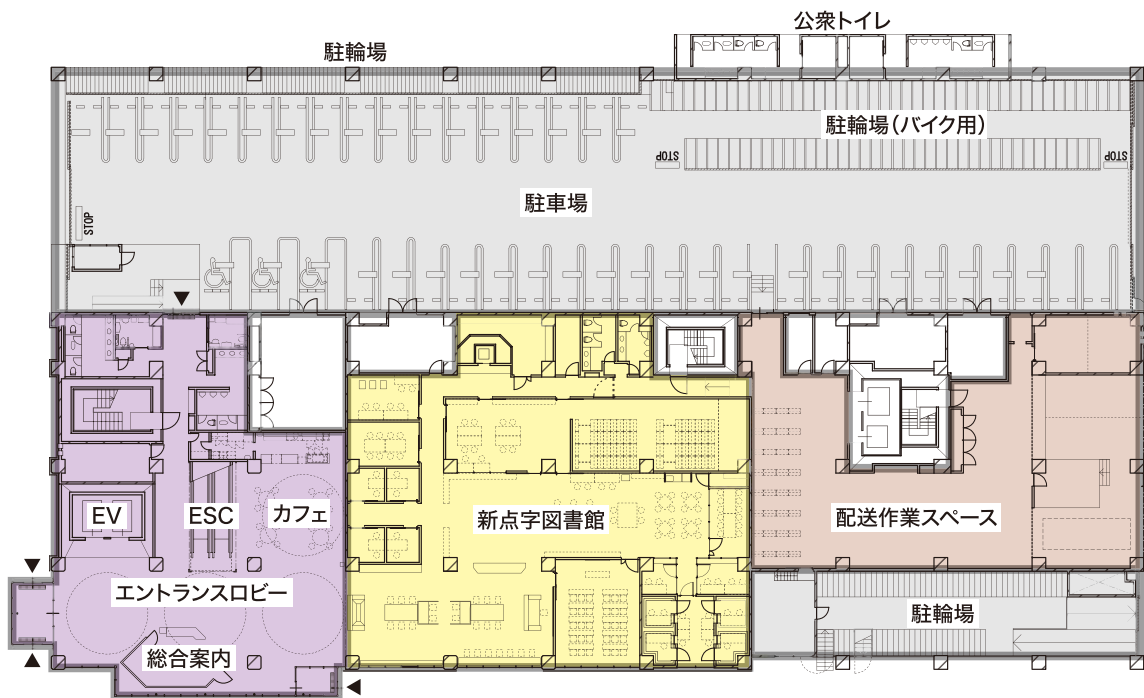
【凡例】

■	エレベーター(利用者用)	■	エスカレーター	■	トイレ		駐車場
■	エレベーター(業務用)	■	階段				駐輪場

大きな樹を育む



1階 新点字図書館・エントランス・駐車場・駐輪場



駐車場・駐輪場

駐車可能台数

1階ピロティ	40台
機械式*	60台
合計	100台

※建物西側に設置

駐輪可能台数

自転車	394台
バイク	82台
合計	476台



- 建物南西側のエントランスロビーは、天井を工夫し、開放的な空間にします。
- 来館される方の動線を考え、出入口の近くに総合案内とエレベーター(EV)、エスカレーター(ESC)を設置します。
館内のイベントや新図書館の到着資料の情報などをデジタルサイネージ(電子掲示板)でお知らせします。

エントランスロビー(イメージ)

新点字図書館

- 親しみやすいオープンな読書室のほか、対面読書室や相談室を設置します。
- 点字図書や録音図書、各種の情報支援機器等を備え、視覚に障害のある方など活字図書の利用が困難な方に対する読書の支援や情報提供を充実します。
- 視覚に障害のある方の日常生活や情報取得をサポートする用具・機器等の展示コーナーを設置します。
- ボランティアの方々に点字・録音図書等の製作を行っていただくための作業スペースや録音室、編集室を設け、資料製作機能の充実を図ります。

【新点字図書館 施設概要】

読書室：24席
 対面読書室：3室(相談室2室も利用可能)
 収蔵能力(点字図書)：約6万冊
 (録音図書)：CD約2万枚、カセットテープ約5.4万巻
 研修室：30席
 図書等製作諸室：作業スペース、校正室、印刷・製本室、録音室、編集室

【凡例】

点字図書館 エリア
利用者 スペース
管理・図書 製作スペース

